

学校評議員会議事録（第3回）

日 時	令和 4年 2月28日（月） 10時00分 ～ 12時00分	
会 場	北海道白糠養護学校 会議室	
出 席 者	学校評議員 5名	学校側 3名
出席者氏名	細川 和則 氏（北海道社会福祉事業団白糠学園長） 森下 智之 氏（白糠町教育委員会指導室長） 山田 雄大 氏（白糠町保健福祉部介護福祉課長） 小淵 隆司 氏（北海道教育大学釧路校 教授） 坂上 綾子 氏（北海道白糠養護学校PTA会長）	校 長 仲條 正輝 教 頭 大山 伸吾 事務長 後藤 裕志

1 学校長挨拶

コロナウイルスの感染状況は依然厳しく、まん延防止等重点措置が続いているが、本校では一人も感染者を出すことなく教育活動を続けられている。

本日は1年間のまとめとして学校評価等に基づく今年度の反省と、次年度の学校経営方針等についての説明を行って参りたい。

2 説明事項

- (1) これまでの主な行事について ※教頭より行事内容についての説明
 - 高等部校外学習（販売会） ○鷹栖養護学校とのポッチャ交流
 - パンダに会いに行こう～アドベンチャーワールドオンラインツアー
- (2) 今年度の重点目標に関わる推進状況について ※教頭より推進状況についての説明
 - 新型コロナウイルス感染症対策の徹底と安心・安全な学校環境の構築と維持
 - 防災講座「震災から学ぶ津波防災」
- (3) 今年度の重点目標の反省 ※校長より反省についての説明
 - 重点目標①「オンラインを活用したハイブリット型の授業実践とウィズ・コロナ教育課程の編成 ～白糠スタイルの構築と展開～」
 - 重点目標②「キャリア発達に即した生涯学習に繋がる取り組みの推進」
 - 重点目標③「新型コロナウイルス感染症対策の徹底と安心安全な学校環境の構築と維持」
- (4) 次年度の重点目標の構想について ※校長より構想についての説明
 - 重点目標①「オンラインを活用したハイブリット型の授業実践とウィズ・コロナ教育課程の編成 ～白糠スタイルの構築と展開～」（継続）
 - 重点目標②「キャリア発達に即した生涯学習に繋がる取り組みの推進」（継続）
 - 重点目標③「生徒のメンタルヘルスに配慮した教育課程の構築」（新規）

3 授業見学



4 評議

(1) 学校評価の結果と次年度の改善について ※教頭より学校評価についての説明

○教職員による学校評価

どの項目も基準を超えており、職員の取り組みの成果が反映されている。学校として、さらに前進していくために、今年度の反省を生かしていく方策が必要となる。

○保護者・学園職員による学校評価

保護者・学園職員による評価については、多くの項目で基準とする点数を超えている。また、保護者からの回答数は、学園職員の生徒の担当の方の回答を含めた。その中でも、評価が昨年度より比べて低くなった項目もあり、指摘を受けた部分は真摯に反省し、次年度へ生かす必要がある。

(2) 質問及び評議

(質問1) 教職員の連携に課題がある、という話もあったが、教職員の働き方改革の現状はどうか？

→本校での人員減少が多忙感を生んでいる部分は考えられる。ただし生徒のための教材研究にはいくらかでも時間をかけられるなど、業務内容にもよるところがあると思う。定時退勤日の曜日変更するなど、工夫をした取り組みを行っており、本校としては働き方改革の取組としてできることは概ね実行しているのではないかと考えている。

(意見1) 生徒人数は少ないとは言え、業務内容は大規模校でも小規模校でも基本は同じである。例えばリモート会議などでも、必要性を十分検討する必要があるのではないだろうか。

(意見2) このようにこじんまりとした人数の少ない中で、相手を思いやる心を養うために一緒に学び合う機会は大切だと考えている。子供の発達においては集団は大切なものだと考えられるので、「個別最適化」とともに、集団の中でどのように活動すべきか学ぶことも重要となってくる。

(意見3) 今後は共同的な学びが必要だと考えられるので、本校の学校教育目標にあるような「思いやりのある人」を育てることが重要だと考える。

(意見4) 生徒数が減ったからこそできる、といったこともあるのではないだろうか。引き続き、きめ細やかな指導をお願いしたい。コロナ禍の状況もあるので、子供たちがコミュニケーションを取ることができる場所は、学校や学園しかないと考えている。

(意見5) コロナウイルスの感染者を一人も出さずに取り組んでいるということは、すばらしいことだ。他の施設等でのクラスター発生も承知しているところなので、学校においては今後もいろいろと工夫をして取り組んでいてもらいたい。また、ポッチャ甲子園の取組は興味深いものがあるので、機会があればぜひ直接見てみたい。

(意見6) 併設する白糠学園においても入所者数がかなり減ってきており、個別の対応が必要となるケースがある一方で、コロナウイルス対策などでは、きめ細かい対応ができていないのではないかと考えている。今後も学校職員とも連携を取りながら、よりよい対応ができるよう取り組みたい。

5 次年度の学校評議員について ※教頭より次年度についての説明

次年度も引き続きお願いしたい。今後、人事異動等も考えられるので、その際にはまず連絡いただきたい。

6 学校長挨拶

今年度、一年間評議員会の活動にご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。次年度の重点目標の構想について、本日の説明でご理解いただいたことと存じます。今後も生徒の生命と健康を守ることを肝に銘じて、取り組んで参りたい。

